



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 7. 5

No. 13

町を知る「わくわく町たんけん」

6月28日(木)に「わくわく町たんけん」が行われました。天気が心配されましたが、時折日差しも指す中、ほぼ予定通り行うことができました。昨年の反省を生かし、今回は内容を大きく変えました。

- (課題) ・「探検」というよりは、その地区を歩いているだけではないのか。
・仙南や千畑を回るのも良いが、肝心の六郷地区の事を知らない子が多い。

そこで、今回は次のように内容を改善しました。

- 商店街にお願いして、店を訪問し、インタビューや質問をする。
- 自分達で見学したい清水を2つ選んで回る。
- お寺を2つ選び、見学する。

この3つの内容を取り入れることで、上記の課題が改善されると考えたのです。

たて割班での協力



途中で水分を補給して



たて割班で協力し



あめをみんなで分けて



クイズは解けたかな？

1～6年生のたて割班で行動する「町たんけん」、全員の協力がなければゴールできません。特に今回は歩く距離が長かったので、下学年は大変だったかもしれません。そんな時に、上学年の子ども達がどれだけ声をかけ、励ますかが大事になります。また、訪問する場所も多いので、地図を見て確かめながらの行動になります。お互いに意見を出し合いながら、見学場所を探しているグループがたくさんありました。

お店の見学



今回、協力いただいたお店は次の通りです。

間弓菓子店、手芸の店「コットンルーム」、小西、モリテイ、ヤマリ薬局、やまちょう、ゆうちゃんの郷

上の写真のように、それぞれのお店では、子ども達の質問にも丁寧に答えてくださいました。モリテイさんではわざわざ腕時計の中身を見せてくれるなど、興味をもてるように工夫してくださいました。3年生以上は、総合的な学習の時間で六郷をいろいろと調べる活動がありますが、低学年にとっては特に貴重な体験となりました。

お店以外でもお寺を見学する活動がありましたが、なかなか入ることのないお寺に、子ども達は興味津々でした。山門には家紋が描かれてあって、子ども達も驚いて見入っていました。裏に写真がありますが、清水も子ども達にとっては楽しい見学となりました。

「子ども達の日記や作文から」

1年

きのう、わくわくまちたんけんにいきました。いちばんたのしかったことは、さいごのもんたいがむずかしかったけど、さいごにみんなできょうりょうしたら、こたえられたことです。

きょうは、わくわくまちたんけんにいきました。しみずをいっぱいみることができました。よかったです。



2年

わたしはとけいやさんの中に入って、うでどけいの中を見ました。でんちは、大きいうでどけいは大きく、小さいとけいのは小さかったです。でんちをつかううでどけいとでんちをつかわないうでどけいがありました。

ぼくは、わくわく町たんけん、し水に行きました。水がすごくきれいでした。手を入れてみたら、がまんしきれないくらいつめたかったです。また、いってみたいです。



3年

体育館でまっている時は、早く町たんけんをしたくてうずうずしていました。一番むずかしかった問題は、ハタチやし水の水の温度を当てる問題です。わたしは8どくらいだと思いました。ほう門し水がある場所をはじめて知ってはじめて見ました。意外と大きくてびっくりしました。いろいろなし水やいろいろな所に行けて楽しかったです。たくさん歩いて足がとてつつかれました。来年の町たんけんは、晴れて外でお弁当を食べたいです。

4年

今日、わくわく町たんけん、雨が心配だったけど、太陽の光があたって、とてもいい晴れでした。清水っ子はんで協力して、なかよく楽しく活動できたのでよかったです。1年生がわくわく町たんけんは初めてだったけど、とても楽しく活動していたので、とてもよかったです。むずかしい問題もあったけど、みんなでいっぱい考えて答えをだせたのでよかったです。美郷の新しい発見がたくさんみつけれられたのでよかったです。これからも、清水っ子はんで、楽しくなかよく協力し合っ



6年

今年は六郷地区とラベンダー園だったけれど、ラベンダー園は雨のえいきょうでなくなってしまいました。でもラベンダー園はクマが多く出ていたので、よかったかもしれないと私は思っています。昨日の予想では、わく探が延期になる可能性があったけれど、今日は晴れていた、小学校生活最後のわくわく町探検が大成功で終わって良かったです。私は今日のわく探で、6年生として責任をもって、自分より下の学年の人の世話ができて良かったです。これからもたくさんの行事があるので、その行事でも班長として認められる6年生になりたいです。それに、下の学年にたよりにしてもらえる6年生になって、強い自分を作っていきたいです。



「わくわく町たんけん」の途中で考えた俳句から

ともだちと 町をまわって 楽しいな ()	六郷は 清水の町だ うれしいな ()
六郷の ほこりをもてた 清水っ子 ()	六郷は 清水の都 すきとおる ()
ぼくたちが 六郷の町 盛り上げる ()	長明寺 歴史の人の 言葉あり ()

初めての試みを行った「わくわく町たんけん」でしたが、その成果は大きいものがありました。そのことは子ども達の日記や俳句に明確に表れています。商店街の方からも「子ども達が商店街を歩いてくれるだけで、明るくなる。」とおっしゃってくださいました。また、子ども達は六郷の良さをあらためて認識できたのではないかと思います。学校での勉強は大切です。そして、地域に出かけての体験活動も大事な勉強です。その体験があつてこそ、学校の授業が充実するのではないかと改めて感じました。

